

株式会社エフエムみしま・かなみ

放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 29 年 11 月 16 日 (木)
2. 開催場所 三島市一番町 2-29
三島商工会議所 3 階・ミーティング R
3. 委員の出席
 - ①委員の総数 6 名
 - ②出席委員数 4 名
 - ③出席委員の氏名
岡山 一夫、中山 勝善、白井 由美子、藤吉智子
 - ④放送事業者側出席者
杉山 喜徳 (代表取締役)、遠藤 真里 (総務部)
4. 議 題
 - 第 1 号議案 “しずおか連詩の会 in 三島” 開催記念特番
『故郷へ遺したメッセージー大岡信と三島ー』についての講評
 - 第 2 号議案 次回開催日について 他
5. 議事の概要 “しずおか連詩の会 in 三島” 開催記念特番
『故郷へ遺したメッセージー大岡信と三島ー』についての講評
 - 第 1 号議案 放送日時：2017 年 11 月 3 日(金) 10：00～11：00
出演者：植田航平、中村童子 (大岡信ことば館・学芸員)

番組紹介 水の街・三島を象徴する場所のひとつ、桜川沿いに三島と係わりのある文人たちの“水辺の文学碑”が並んでいる。文学碑のトップバッターを飾っているのが、「地表面の七割は水…」で始まる大岡信さんの詩『故郷の水へのメッセージ』の一連目である。

その大岡さんは今年の春、86歳でその生涯に幕を閉じた。ボイス・キューでは、これまでも様々な番組を通して三島生まれの作家・大岡信さんを紹介して来た。今回は大岡さん提唱の「連詩の会」が3年ぶりに三島市で開催されるのを記念して、氏の生い立ちや様々な作品にスポットを当てながら、故郷・三島に遺したメッセージについて紐解いて行く。
6. 審議内容
 - 第 1 号議案 番組の講評
 - 「ことば館」最後の月に、こうした番組が作られ、放送されたことがう

れしかった。

- しっかりした構成で、非常に聴きやすく、分かりやすい番組に仕上がっていた。
- 水辺を表現する場面で、せせらぎの音に合わせて、周囲の情景を言葉でも示したことにより、それがまるで絵を見るように頭に浮かんできた。素晴らしい紹介の仕方だった。
- 大岡さんについての解説をしてくれた「ことば館」の中村学芸員の優しくて聴きやすい声が印象的で、詩の朗読もよかった。
- やはり詩人の表現力には脱帽する。すごいなあと大岡さんの偉大さを改めて思った。
- 故郷が生んだ文学者について、もっと番組で取り上げてほしい。

～といった意見がありました。

第2号議案 次回番組審議会の開催日程 平成30年1月を予定

- 7. 審議機関の答申又は改善に対してとった措置及びその年月日
特になし
- 8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合における
公表の内容、方法及び年月日
 - ① 議事録などをファイルとして供覧
 - ② エフエムみしま・かんなみの
11/17（金）「Come Come FLYday」
11/18（土）「WEEKEND ナチュラル♪」の時間内で放送
 - ③ 静岡新聞に掲載 平成29年11月18日（土）記事
- 9. その他の参考事項
特になし

株式会社エフエムみしま・かんなみ